

「にもかかわらず」やらないと、人間は磨かれない

樋野興夫著

病気は人生の夏休みより

「あることをやらなければならない」となったとき、それは自分がやらなければならないことか、それとも他の人にやってもらった方がいいかを考えます。

あなたがやらなくても、他の誰かがやってくれることは意外とあるものです。

「自分がやらなければならない」と判断すれば、何をおいてもどんな境遇にもかかわらずにやります。やらなければならないことをやらないのは単なる怠け者。

勉強しなければ試験でいい点が取れないのは当然のこと。試験なんか 0 点だっていい。勉強は嫌いだからやりたくないんだ。このような人間は成長しません。

「にもかかわらず」行動しないと、人は磨かれないのです。

イヤだけど仕方なくやった結果、心が満たされることはよくあります。

そのような経験をすると、人生の階段を 1 段のぼった、身長がぐーんと一気に伸びたと実感するでしょう。

人生とは、そうした不連続点の繰り返しなのです。

